

No	頁	章	節	項目	該当箇所	意見の内容	意見の理由	修正の有無	県の対応
1	7	2	1	現時点における医師偏在指標	○「本県の医師偏在指標は、医師全体では300.1で、全国3位となっています。」	○この記述では、福岡県が他県と比べてよい状況にあるのか、不利な状況にあるのかがわかりません。どういう意味なのかを説明する文章を記載していただきたいと思います。『福岡県の医療需要に対する医師数は全国では3番目に多く、たくさんの医師がいるという恵まれた状況にある』という意味なのでしょうが、それは良いことなのか？よくないことならどういう対策が必要なのか？をこのページに記載してほしいと思います。『P20を読めばわかります』と言うのであれば、そのような注意書きを付せばよいと思います。この項目だけではなく他の項目、ページも同じです。	(記載なし)	無	○医師偏在指標は、全国ベースで医師の多寡を統一的・客観的に比較・評価する指標であり、医師の充足状況を示すものではないため、「恵まれている」等の表現はせず、現状の数値を表現するに留めています。
2	21～112	-	-	施策に関する記述	○「(例) P21 医療資源に恵まれないへき地等における医療の確保を図るため、地域の医師不足の状況を踏まえた上で、自治医科大学卒業医師を派遣します。」	○「・・・派遣します」という表現を読むと、「これまでは派遣していませんでしたが、これから派遣を始めます」ということだと思ってしまうのですが、自治医科大学の僻地への派遣はかなり以前から実施されていると思います。いかにもこれから開始する取り組みを説明しているように思える不正確な書き方は、県民に誤解を与えるので、正確な表現に改めた方がよいと思います。例として自治医科大学をあげましたが、他のページ・項目にも実施済みの施策があります。すべて修正が必要と思います。	(記載なし)	無	○当該箇所は、現状や課題、医師確保の方針に基づき、今後、計画期間において取り組む医師確保の施策について記載する項目となっており、これまで実施していたかどうかについては、記載しておりません。
3	38～111	3	2	施策に関する記述	○「(例) P52 医療資源に恵まれないへき地等における医療の確保を図るため、通期の医師不足の状態を踏まえた上で、自治医科大学卒業医師を派遣します。」	○P38以降の二次医療圏ごとに記述している箇所は、医療圏ごとに施策の実施状況が違うので、各医療圏の現状と実施状況を、違いが分かるように丁寧に説明していただきたいと思います。P52の宗像については、他の医療圏と同文の「医療資源に恵まれないへき地等に・・・」という抽象的な文章になっていますが、「大島」と明示すれば県民は理解しやすいと思います。同じページの上段に「大島」と記載しているのですから差支えないと思います。	(記載なし)	無	○自治医科大学卒業医師は、地域の医師偏在の状況を踏まえた上で派遣することから、具体的な名称は記載しておりません。
4	77	3	2	二次保健医療圏	○「本医療圏内にある医師少数スポット（八女市矢部地域、八女市辺春地域）における医師確保を図っていきます。」	○矢部地域と辺春地域は医師少数スポットになっていますので、他の医療圏のように自治医科大学の派遣などの具体策を記載してはいかがでしょうか。自治医科大学の派遣が適当ではない、あるいは不要であるというのであれば、その理由を記載しておく方がよいと思います。具体策が示されていない他の項目も同じです。	○抽象的な言葉だけではわかりません。具体策を記載しないのは、県民に対して不親切だと思います。	有	○ご指摘の箇所は、有明保健医療圏ではなく、八女・筑後保健医療圏に関する記載であるため、P77から削除します。なお、矢部地域及び辺春地域における医師確保の方針及び施策については、P72に記載しています。